

Beyond 5G時代に向けた新ビジネス戦略セミナー(第14回) 「CES2023について」

CESにおける自動車関連の概況

MRI 三菱総合研究所

2023年2月6日

スマート・リージョン本部

佐藤 賢

出展した主要な自動車メーカー・サプライヤー等

自動車メーカー

- BMW(独)
- Mercedes-Benz(独)
- Volkswagen Group:Audi(独)/Porsche(独)/VW(独)
- Stellantis:Chrysler/Dodge/Jeep/RAM/Fiat/Peugeot
- Hyundai
- Volvo
- Cenntro Automotive(米 商用電気自動車)
- PACCAR(米 大型トラック)
- VINFAST(越 電気自動車)
- その他

サプライヤー

- BlackBerry
- Bosch
- Bridgestone
- Continental
- GENTEX
- KYOCERA
- Luminor
- MAGNA
- Mobileye
- muRata
- Panasonic Automotive
- Toyota Boshoku
- Valeo
- ZF
- その他 多数

その他関連企業

- AMAZON
- Microsoft
- OnStar
- Qualcomm
- SONY(ソニー・ホンダモビリティを含む)
- Waymo
- その他 多数



Tech East(西館)

出所)現地にて三菱総合研究所が撮影

※アルファベット順で掲載

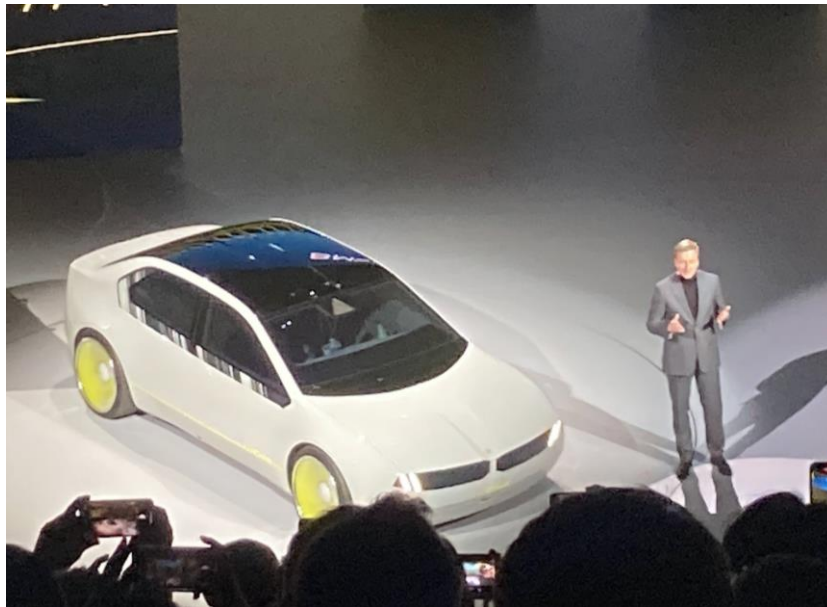
BMW

BMW i Vision Dee

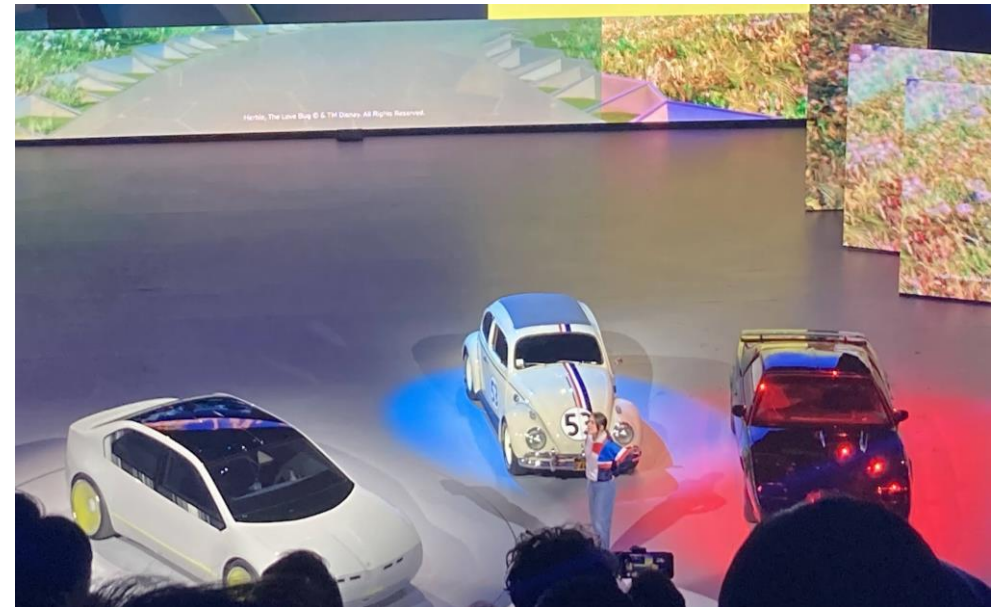
- 実空間と仮想空間の境界を押し広げるビジョンとして「BMW i Vision Dee」を発表

Dee: Digital Emotional Experience

- BMWグループのCEOであるオリバー・ツィプセ氏は、Deeを人と車の絆を強める「究極のデジタル・コンパニオン」として説明
 - ✓ TVや映画でAIカーとして有名な「Herbie」や「Night2000(Night Rider)」とともにDeeが登場
 - ✓ Deeは寸劇のナビゲーターと和気あいあいと、時には口ごたえなども挟みながら会話を繰り広げた



出所) 現地にて三菱総合研究所が撮影



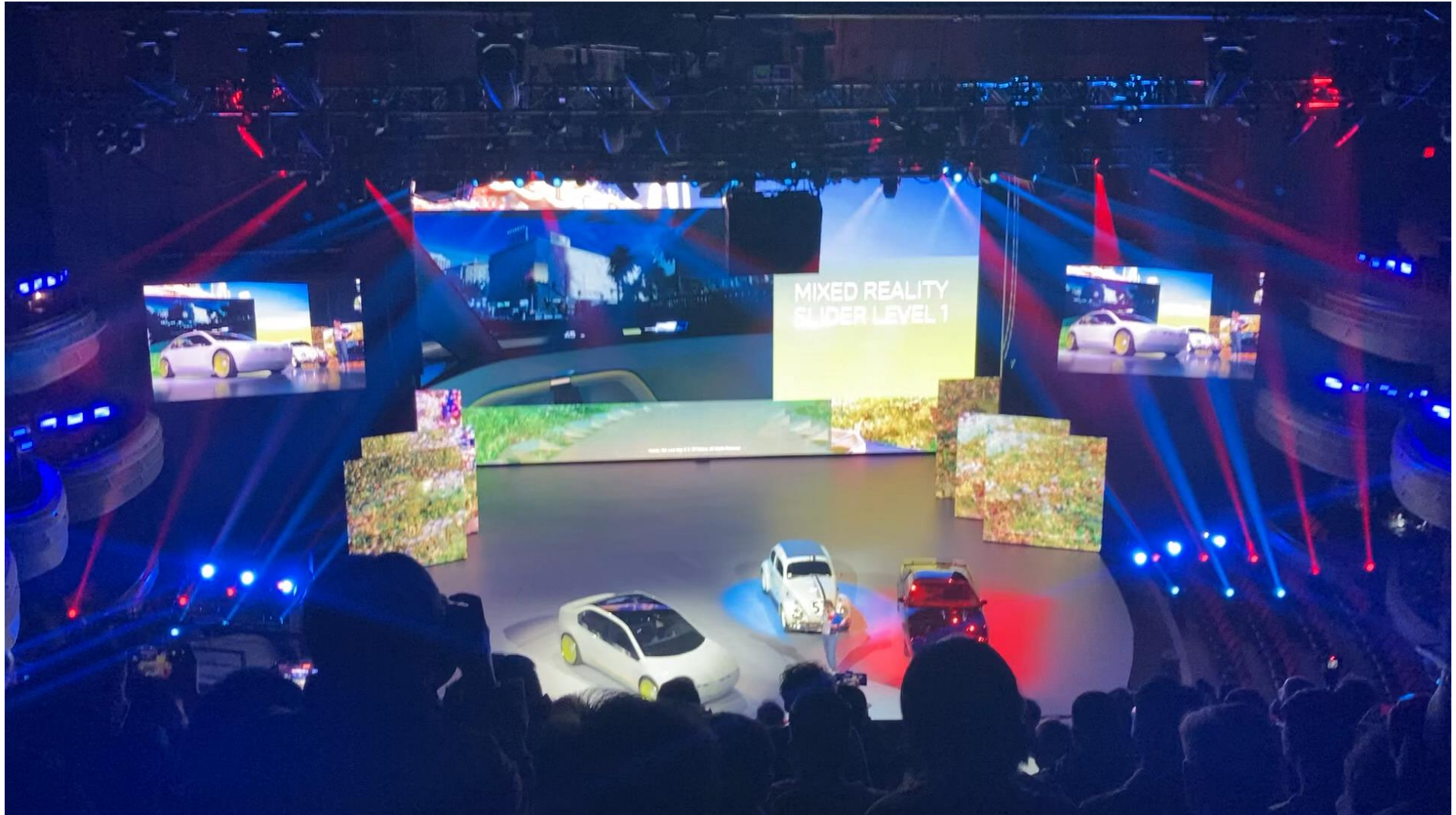
出所) 現地にて三菱総合研究所が撮影

BMW



出所)現地にて三菱総合研究所が撮影

BMW

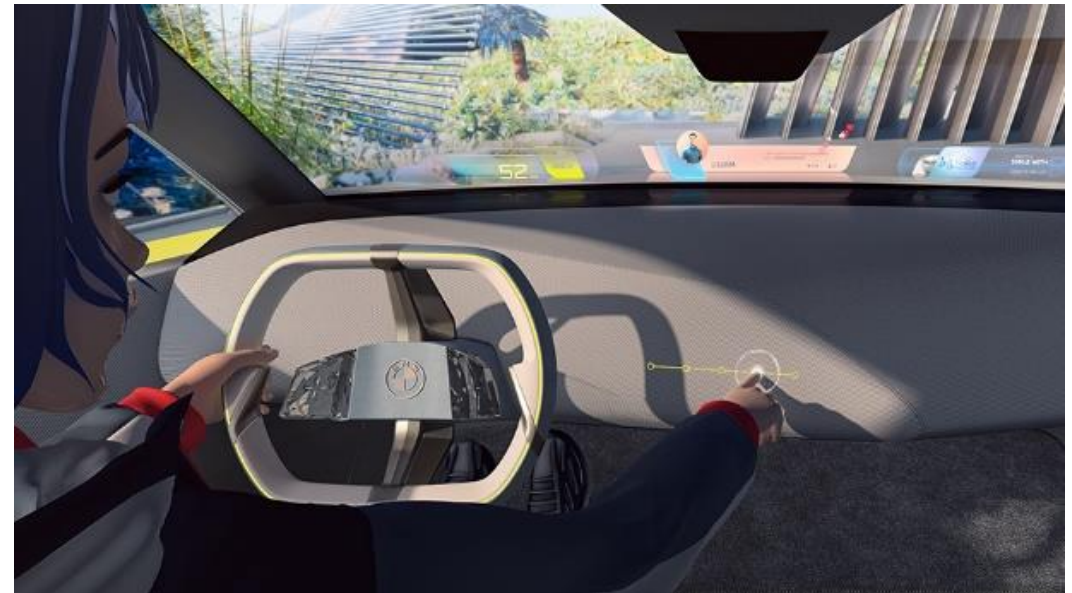


出所)現地にて三菱総合研究所が撮影

BMW

フロントシールドに情報表示

- 従来型のディスプレイを持たず、視界の妨げを最小限に抑えた情報表示
- 表示情報としてレベル1～4を提示
 - ✓ レベル1: 運転支援、ナビゲーション情報を表示
 - ✓ レベル2: 電話・テキストによる家族や友人とのコミュニケーション
 - ✓ レベル3: 衝突予測やあらゆる障害物等の表示
 - ✓ レベル4: 想像し得る全ての仮想現実
- 2025年に登場予定の **Neue Klasse**(ノイエクラッセ:新しいクラス)としての次世代EVに搭載予定
 - ✓ Neue Klasseは、BMWが1960年代から1970年代に発売したセダン「1500」の愛称にちなんだもの



出所) BMW 公式HP/2023年2月3日閲覧

<https://www.bmw.co.uk/en/topics/discover/concept-cars/bmw-vision-ivisiondee-2023.html>



BMW1500

出所) BMW 公式HP/2023年2月3日閲覧

<https://www.bmw.com/de/automotive-life/die-neue-klasse-von-bmw.html>

Stellantis

ステランティスCEO カルロス・ダヴァレス氏の講演

- 自動車をハードウェアとして開発する時代は終焉し、これからの自動車はアプリケーションであり、プラットフォームとしてとらえて開発していく必要性を言及
- 同社が掲げる目標(2030年までにカーボンニュートラル、2038年までにカーボンネットゼロ)のために、**ソフトウェア開発**、**自動化**、**電動化**を3つの柱にして、戦略を推し進めていくと説明
- Stellantisが今年新たに設立した独立のカーソフトウェア部門「Mobilisights」の立ち上げを発表し、車両データを産官学の多様なサードパーティに向けて提供、より多様なサービスを実現していくことを表明



出所)現地にて三菱総合研究所が撮影



出所)現地にて三菱総合研究所が撮影



出所)現地にて三菱総合研究所が撮影

Stellantis: Peugeot

プジョー CEO リンダ・ジャクソン氏の講演

- Stellantisのソフトウェアの進化の具体例の一つとして、Peugeot社のコンセプトカー「Peugeot Inception Concept」を紹介

Inception:始まり

- 30km/分の高速充電、1回のフル充電で約800km走行
- インテリアには新世代の「i-Cockpit」を採用、新たな車内体験を創出
 - ✓ スマホのような指先操作と音声認識でステアリング操作する四角形型の「Hypersquare」
 - ✓ 360°型の情報表示パネル「Halo Cluster」



出所)現地にて三菱総合研究所が撮影



出所)現地にて三菱総合研究所が撮影

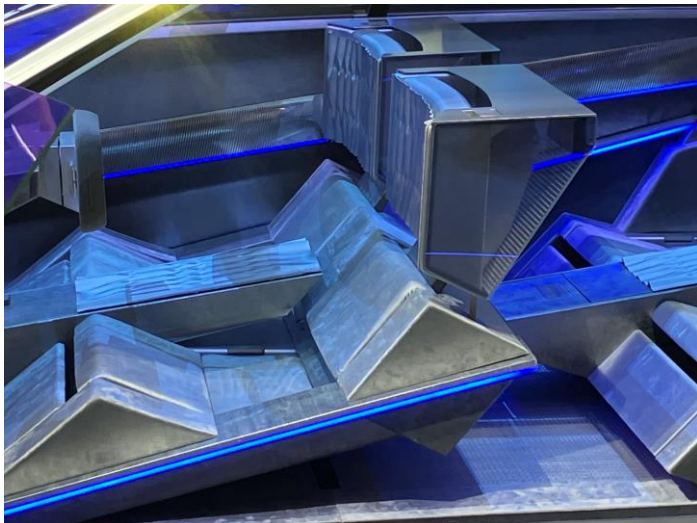


出所)現地にて三菱総合研究所が撮影

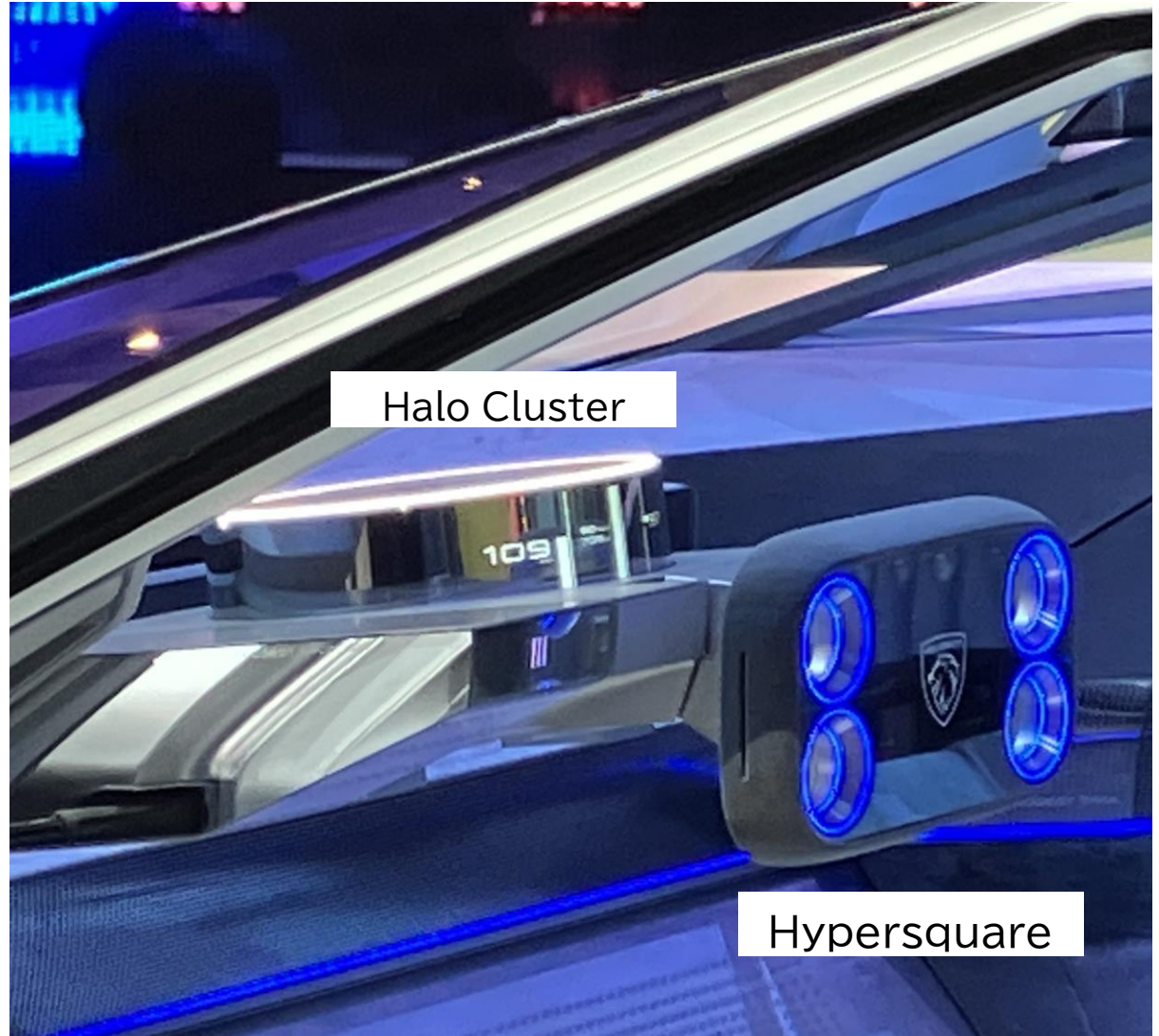
Stellantis: Peugeot



出所) 現地にて三菱総合研究所が撮影



出所) 現地にて三菱総合研究所が撮影



Halo Cluster

Hypersquare

出所) 現地にて三菱総合研究所が撮影

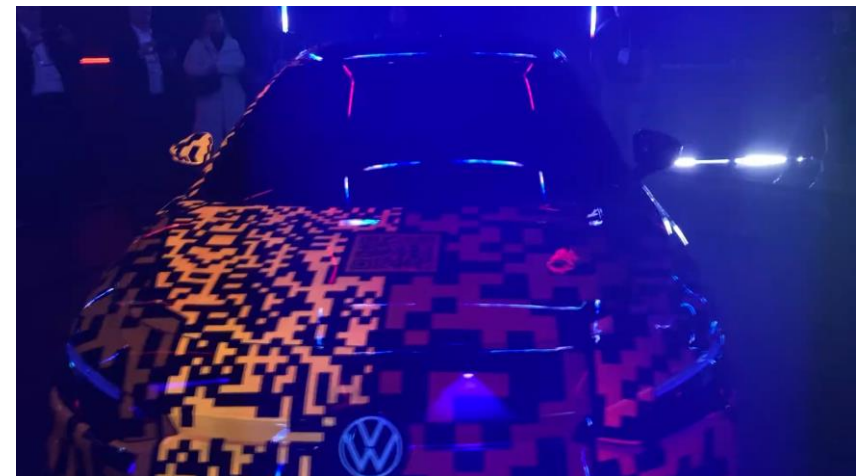
Volkswagen

EVコンセプト「ID.7」

- 同社からは初となるセダンタイプのEVのコンセプトカー「ID.7」を発表
- 2023年春に欧州、北米、中国で発売開始予定
- 2019年より開発しているEV向けのモジュラープラットフォーム「MEB: modular electric drive matrix」を使用し、約700kmの最大航続距離を実現
 - ✓ 現時点で非公開ではあるが、バッテリーの蓄電容量は2種類(52KWh、77KWh)のあたりから採用される見込み
 - ✓ ボディの色をユーザーが自由に変更できる。(2023年春より発売される市販車に本機能が搭載されるかは不明)



出所) 現地にて三菱総合研究所が撮影



出所) 現地にて三菱総合研究所が撮影

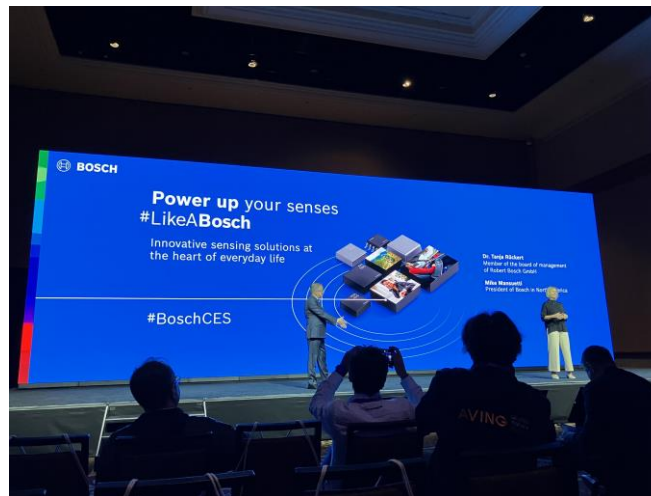
Bosch

Bosch のプレスでの講演

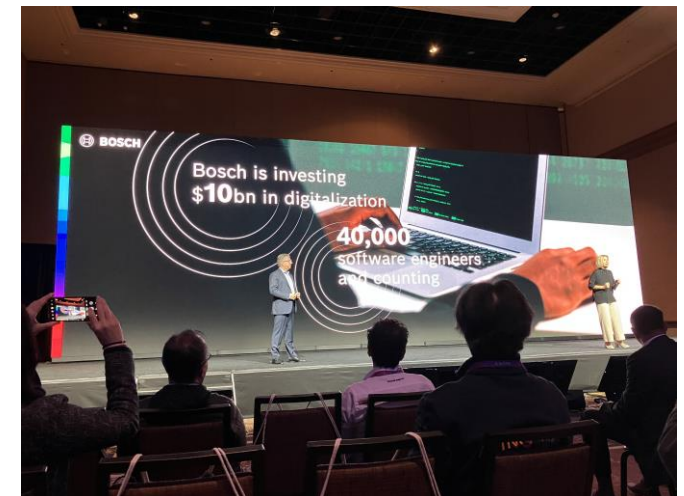
- Bosch 取締役会メンバーのタニア・リュッカート氏やボッシュ米国法人 社長 マイク・マンズエッティが登壇し、昨今の地球環境や各国が直面している様々な課題を取り上げ、その上で、セキュリティ、ウェルビーイング、そして地球環境の保全や向上のために、技術が果たすべき重要な役割について説明
- 従来、訴求してきた「LikeABosch」を「Sensor tech #LikeABosch」へ発展させ、MEMS (Micro Electro Mechanical System) センサーよりも**1000倍の測定精度を達成可能な量子センサーの可能性**を強調し、モビリティ分野等で活用が想定される各種センサー開発に意欲を見せた
- さらに、デジタイゼーションにも取り組み、今後3年間で事業のDX化に100億ドル(約1兆3千億円)を投資し、現在4万人のソフトウェアエンジニアをさらに拡大することを表明



出所) 現地にて三菱総合研究所が撮影



出所) 現地にて三菱総合研究所が撮影



出所) 現地にて三菱総合研究所が撮影

Bosch

BOSCH のプレスでの講演

- 自動運転時の車両の各種状態、自動車の事故時の乗員の状態、その他緊急時の周辺環境や利用者がおかれる状態などを、より高精度なセンサーで検知し、安全を確保するのにセンサーが中心的な役割を果たすことを強調
- **センサーは現代技術の中心であり、ネットワーク化された世界の根幹**であるとし、従来よりも高精度なセンサーを用いて、ネットワーク化とクライメートアクションのためのハードウェアやソフトウェアのソリューションを提供していくことを表明



出所) 現地にて三菱総合研究所が撮影



出所) 現地にて三菱総合研究所が撮影



出所) 現地にて三菱総合研究所が撮影

未来を問い続け、変革を先駆ける

MRI 三菱総合研究所

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社 三菱総合研究所
スマート・リージョン本部/モビリティ戦略グループ

[担当] 佐藤 賢 s-sato@mri.co.jp

TEL : 03-6858-0241

FAX : 03-5157-2142
